種	類	市況の概要
野	菜	天候の回復とともに年末以降の寒波と降雪の影響も次第に回復し,全体として入荷量は,前年同期を5%上回った。価格は,入荷増であったが,上旬の野菜全体の品薄感から一般需要が比較的好調で,前年並みとなった。品目別には,キャベツ・ほうれんそう・レタス・トマト・ばれいしょ・たまねぎは入荷増となり,価格は,ばれいしょが前年同期を上回り,たまねぎが前年並みとなった他は,前年同期を下回った。はくさい・長大根は前年並みの入荷となり,価格は,はくさいが前年同期を下回り,長大根が前年同期を上回った。きゅうり・ピーマンは入荷減となり,価格は,きゅ
		うりが前年並みとなり、ピーマンが前年同期を上回った。 葉菜類は、入荷量は11%増加し、価格は12%下回った。 果菜類は、入荷量は前年並み、価格も前年並みとなった。 根菜類は、入荷量は前年並み、価格は8%上回った。 土物類は、入荷量は4%増加し、価格は前年並みとなった。
果	実	低温の影響で、いちご・メロン等の入荷が減少した他は、秋までの高温の影響による着色不良や小玉傾向等の品質の低下が一部にあったものの、生育状況は概ね良好で、全体として入荷量は、前年同期を3%上回った。価格は、メロンが低温による生育遅れと加温用燃料の高騰により栽培を控えたため入荷減となり高値となったが、全体としては、入荷増のため、台風被害により高値であった前年同期を13%下回った。
		柑橘類は,入荷量は7%増加し,価格は14%下回った。 りんごは,入荷量は9%増加し,価格は16%下回った。 いちごは,入荷量は20%減少し,価格は8%上回った。 メロンは,入荷量は20%減少し,価格は48%上回った。

主要品目	市況の概要
はくさい	愛知を主力に兵庫・岡山・九州からの入荷。気温の上昇とともに生育も回復し,入荷量は,ほぼ前年並みとなった。 価格は,一般需要が伸びず,前年同期を16%下回った。
キャベツ	愛知を主力に兵庫・大阪・和歌山・九州からの入荷。気温の上昇とともに生育も回復し,入荷量は,前年同期を17%上回った。 価格は,入荷増に加え一般需要が伸びず,高値であった前年同期を32%下回った。
ほうれんそう	京都・徳島・滋賀からの入荷。天候の回復とともに低温の影響で生育が 遅れていたものが一気に出荷され,入荷量は,前年同期を45%上回った。 価格は,入荷増のため,前年同期を32%下回った。
レタス	兵庫・長崎・徳島・愛媛からの入荷。天候の回復とともに生育も進み, 入荷量は,前年同期を14%上回った。 価格は,入荷増のため,前年同期を10%下回った。
きゅうり	宮崎・高知・徳島・愛媛からの入荷。台風の影響による定植時期の遅れ と低温の影響による生育の遅れのため,入荷量は,前年同期を4%下回っ た。 価格は,入荷減と品薄感から,高値であった前年並みとなった。
トマト	熊本・福岡・三重からの入荷。低温の影響による生育不良があったが、 全体として入荷量は、前年同期を10%上回った。 価格は、入荷増と品質の低下のため、前年同期を16%下回った。
ピーマン	宮崎・高知・鹿児島を主力に入荷。年末以降の低温と日照不足のため生育が悪く,入荷量は,前年同期を7%下回った。 価格は,入荷減のため,前年同期を11%上回った。

長大根

徳島・長崎を主力に入荷。入荷量は,前年並みとなった。 価格は,比較的に品質が良かったため,前年同期を23%上回った。

ばれいしょ (メークイン含む) 北海道・鹿児島・長崎を主力に入荷。北海道・長崎産に中旬以降に天候の影響で品質の低下があったが、全体として入荷量は、前年同期を 5 %上回った。

価格は,入荷増であったが一般需要が良く,前年同期を11%上回った。

たまねぎ

北海道を主力に兵庫からの入荷。北海道産が生育期の低温の影響により やや小玉傾向となったが,全体として入荷量は,前年同期を8%上回った。 価格は,入荷増であったが,ほぼ前年並みとなった。

主要品目	市況の概要
みかん	和歌山を主力に福岡・愛媛からの入荷。和歌山産の貯蔵ものが中心で, 入荷量は,前年同期を16%上回った。 価格は,入荷増と小玉傾向のため,前年同期を23%下回った。
伊予柑	愛媛を主力に福岡・和歌山からの入荷。生育期の高温と旱魃の影響による小玉傾向があったが,入荷量は,ほぼ前年並みとなった。 価格は,品質の低下のため,前年同期を6%下回った。
ふじ (サンふじ含む)	青森を中心に岩手・秋田からの入荷。生育期の高温の影響による着色不良があったが、全体として入荷量は、前年同期を4%上回った。 価格は、入荷増と品質の低下のため、前年同期を11%下回った。
いちご	福岡・熊本・佐賀・大分・愛媛からの入荷。曇天と低温による生育不良により,入荷量は,前年同期を20%下回った。 価格は,入荷減のため,前年同期を8%上回った。
アールス	静岡・愛知・高知・宮崎からの入荷。低温の影響による生育不良と,加温用燃料の高騰により各産地が栽培を控えたことにより,入荷量は,前年同期を13%下回った。 価格は,小玉傾向となったものの,入荷減のため,前年同期を43%上回った。